

第6学年1組 体育科 学習構想案

日 時 令和3年9月22日(水) 第5校時
 場 所 荒尾市立中央小学校6年1組教室
 指導者 教諭 中村 友美(T1)
 養護教諭 安方 七美(T2)

1 単元構想

単元名	病気の予防		
単元の目標	(1)病気の予防には、病原体が体に入るのを防ぐこと、病原体に対する体の抵抗力を高めることおよび望ましい生活習慣を身につけることが必要であること、また、喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、健康を損なう原因となること、さらに、地域において保健に関わる様々な活動が行われていることなどを理解できる。 (2)病気の起こり方と予防の方法について、課題を設定し、解決の方法を考えたり、判断したりし、表現できる。 (3)病気の起こり方と予防の方法について関心を持ち、進んで課題を見つけようとしたり、意欲的に課題解決に取り組んだりしようとするができる。		
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	①病気の起こり方について理解したことを言ったり、書いたりしている。 ②生活行動が関わって起こる病気の予防について理解したことを言ったり、書いたりしている。 ③病原体がもとになって起こる病気の予防について理解したことを言ったり、書いたりしている。 ④喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について理解したことを言ったり書いたりしている。	①病気の予防について学習したことを自分の生活と比べたり、関係を見つげたりしてそれらを説明している。 ②病気の予防について課題解決の方法を見つげたり、選んだりして、説明している。 ③飲酒・喫煙の害を知り、成人になるまで決してしないという強い意思をもっている。	①病気の予防について、自分の生活を振り返るなどの学習活動に進んで取り組もうとしている。 ②病気の予防について、課題解決に向けての話し合いや発表などの学習活動に進んで取り組もうとしている。
単元終了時の児童の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）			
病気の起こり方や予防の方法について理解を深め、自分の生活習慣を振り返る中で、健康に過ごすために課題を見つけ、解決・実践しようとする児童。			
単元を通した学習課題（単元の中心的な学習課題）		本単元で働かせる見方・考え方	
病気の原因やその予防の方法を知り、自分の生活を見直そう。		病原体が主な要因となって起こる病気や生活行動が主な要因となって起こる病気を取り上げ、それに関わる課題を見つけ、その解決の方法を考え、適切な方法を選び、生涯にわたって自己の健康を保持増進するために進んで取り組む態度につなげること。	
指導計画と評価計画（8時間取扱い 本時2/8）			
過程	時間	学習活動（「問い」を設定しても可）	評価の観点等 ★は記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」
一	1	○かぜなどの病気は、どのようにして起こるのだろう。 ・今までにかかった病気や知っている病気を発表する。 ・病気は病原体、抵抗力、生活行動、環境が関わっていることを知る。	【知①】（学習シート） 【主①】（観察・発言）
二	2	○生活習慣病を予防するにはどうすればよいのだろう。（心臓病・脳卒中）（本時） ・生活習慣病の原因を調べ、自分の生活を振り返り課題をもつ。 ○生活習慣病を予防するにはどうすればよいのだろう。（虫歯・歯周病） ・虫歯の進行を考え、自分の生活を振り返り予防を確認する。	【思①】（ロイロノート・学習シート） 【知②】（ロイロノート・学習シート）
三	1	○感染症を予防するにはどうすればよいのだろう。 ・病原体がもとになっておこる病気の予防の仕方、感染の道筋を考える。	【知③】（学習シート） 【思②】（発言・学習シート）
四	3	○喫煙をすると健康にどんな害があるのだろう。 ・たばこ・受動喫煙の害について調べすすめられた時の対応を話し合う。 ○飲酒をすると健康にどんな害があるのだろう。 ・酒の害について調べすすめられた時の対応を話し合う。	【知④】（学習シート） 【思③】（発言・学習シート） 【知④】（学習シート） 【思③】（発言・学習シート）
五	1	○薬物を乱用すると健康にどんな害があるのだろう。 ・薬物の害について調べすすめられた時の対応を話し合う。 ○地域ではどんな保健活動が行われているのだろう。 ・地域の保健活動について調べ、まとめる。	【知④】（学習シート） 【主②】（発言・学習シート）

2 本時の学習

(1) 目標 生活習慣病の原因を考え、予防するために、自分の生活行動について見直し、具体的に実践できる生活行動を考える。(思考、判断、表現力)

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される児童の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	5分	1 課題をつかむ。 ①日本人の死因を知る。 ◇生活習慣病って何だろう。 ②生活習慣病について知る。(T2) ③つまった血管と正常な血管を比べる。 ◇詰まっているのは何だろう。 ◇詰まると病気になる。心臓が止まる。 ④めあてを確認する。	○死因の半分は生活習慣病が関わっていることに気づかせ、その予防が重要であることを認識させる。 ○血管の断面図を提示し、血液の通り道が広い血管とせまい血管を比べることで、原因を考えるきっかけとする。
【めあて】生活習慣病の原因を考え、自分の生活を見直そう。			
展開	32分	2 課題解決に向けて活動する。 ① 生活習慣病になった人の一日の生活を見て、原因を考える。 ◇食べ過ぎじゃないかな。 ◇あんまり寝ていないよ。 ◇野菜を食べていない。 ② グループ→全体で共有する。 ◇食事のバランスが良くない。 ◇運動していないからじゃないかな。 ◇睡眠時間が短いよ。 ③ 生活習慣病になる原因や予防する方法を知る。(T2) ◇ジュースにこんなにたくさん砂糖が入っていたなんて知らなかった。 ◇最近夜遅くまで起きているな。 ◇あまり外で遊んでないから、運動量は足りていないな。 ④ 成人病という言い方から生活習慣病という言い方へ変わったわけを考える。 ◇子どもでもなることがあるからかな。 ⑤自分の生活を振り返り、予防するために実践できる具体的な生活行動を考える。 【期待される学びの姿】 生活習慣病を予防するために、自分の生活を見直し、具体的に改善する生活行動を決めている。 ◇ジュースはコップについて飲む。 ◇昼休みはできるだけ外に出て遊ぶようにする。 ◇遅くても10時までには寝るようにする。	○生活習慣病になった人の一日の過ごし方を提示し、生活習慣病の原因と考えられることを書き込む。 ○グループで考えを共有させ、全体で考えを交流することを通して、運動・食事・休養・睡眠に問題があることに気づかせる。 ○適度な運動のめやす・食事(塩分・糖分・脂肪分の取り過ぎ)・十分な睡眠のめやすについては、一日の摂取量や万歩計をつけていた児童の歩数など具体数を用いながら説明する。 ○名称が変わったことで子どもの頃から健康に良い生活習慣を身につけることが大切だということを伝える。(T2) ○生活習慣病予防のために「運動」「食事」「休養・睡眠」の中から一つ選び、自分ができそうな具体的な行動をロイロノートに書いて提出させる。 【到達していない児童への手立て】 ○運動・食事・睡眠の中から具体例をいくつか挙げ、自分が実践できそうなことを選ばせる。
【具体の評価規準】思① ○生活習慣病の原因を知り、自分の生活を振り返り、自分なりの生活行動の課題をもっている。 (方法：ロイロノート・学習シート)			
終末	8分	3 めあてに対する振り返りをする。 【まとめ】生活習慣病を予防するには、適度な運動・かたよりのない食事・十分な休養・睡眠をとることが必要である。 ◇ジュースの中にはたくさん砂糖が入っていたのを知って、びっくりした。生活習慣病にならないためにジュースは飲み過ぎないようにしたい。	○生活習慣病には他にもあることを知らせ、次時の予告をする。

